

1 この科目の構成について

教 科	外 国 語	科 目	コミュニケーション英語Ⅱ	単 位	2単位
対象コース	カレッジ コース	対象クラス	3年8組、9組		
使用教科書	BIG DIPPER English CommunicationⅡ				
使用副教材	BIG DIPPER English CommunicationⅡ Workbook キクタン(Entry)2000				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。 この科目は、すべての生徒が履修する「コミュニケーション英語Ⅰ」での学習を踏まえ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすように設定されたものである。 「コミュニケーション英語Ⅱ」の目標は、次の二つの要素から成り立っている。 ① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。 ② 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすこと。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するような言語活動を英語で行う。 ア事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる エ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校 「学習の基本は授業」であることを自覚し、先生の話をよく聞く。大切なところはノートの書く。辞書を積極的に活用する。宿題はしっかりとやり、提出物は期限を守って提出する。当たり前の事を当たり前にやっていけば良いのです。そしてアクティビティの場面では自ら積極的に楽しんで下さい。 (2) 家庭 次の授業に備えてのバラチャートを利用した予習やワークブックを活用した復習、音読は毎日欠かさず行い、暗記して何も見なくても英文が言えるまで高めましょう。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
定期考査60% 授業に対する取り組み・パフォーマンステスト10% 課題提出：週末課題・長期休日課題など20% 毎週実施の英単語テスト10%	
評価における定期考査の割合	60%

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 (2) 表現の能力 英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。 (3) 理解の能力 英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 (4) 言葉や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学習の項目	学習の内容	コ	表	理	知
1	4	《English Communication II》 Lesson 1 Sakura (6時間)	【コミュニケーション】桜にまつわる意外な事実について、知っていることを発言しようとする 【表現】 SVC(C=現在分詞・過去分詞), 5 文型, 現在完了・過去完了を用いて, 正しい文を書く 【理解】 ①日本の桜の多くがソメイヨシノであることを理解する②ソメイヨシノが人工的に作られた品種であることを理解する③ソメイヨシノが桜前線の基準となっている理由を理解する④桜守の仕事内容を理解する	●	●	●	
			【知識・理解】 ① SVC(C=現在分詞・過去分詞), 5 文型, 現在完了・過去完了の用法を理解する②桜や花見を通してわかる日本人の国民性について理解する③桜を通しての国際交流について理解する				●
	5	Lesson 2 How Good is Your Memory? (8時間)	【コミュニケーション】暗記法について, またその効果について, 知っていることを発言しようとする 【表現】受動態, 関係代名詞, 関係副詞を用いて, 正しい文を書く 【理解】 ①日本と同様, 海外にも暗記法が存在することを理解する②古代ローマで発達した「場所法」とその例を理解する③暗記力と脳の働きには相関関係があることを理解する	●	●	●	
			【知識・理解】 ①受動態, 関係代名詞, 関係副詞の用法を理解する②日本と世界の暗記法について理解する③さまざまな分野で脳のメカニズムの研究が進んでいることを理解する				
	6	Lesson 3 When East Met West in the Kitchen (8時間)	【コミュニケーション】海外から導入され, 日本の食卓に定着した料理について, 知っていることを発言しようとする 【表現】関係代名詞の継続用法, SVO1O2(that-節), SVO(wh-節)を用いて, 正しい文を書く 【理解】 ①日本が開国により, 外国文化を受け入れ始めた時期の社会のようすを理解する②すき焼き, カレーライス, あんぱんが日本食として定着した経緯を理解する	●	●	●	
			【知識・理解】 ①関係代名詞の継続用法, SVO1O2(that-節), SVO(wh-節)の用法を理解する②時間的順序を表す語句に注目しながら読む方法を知る③日本における洋食の歴史について理解する④日本食が世界中に広がっていることを理解する				
	7	Lesson 4 Space Elevator (8時間)	【コミュニケーション】宇宙エレベーターについて, また宇宙開発全般について, 知っていることを発言しようとする 【表現】関係副詞whereの継続用法, 未来進行形, 仮定法過去を用いて, 正しい文を書く 【理解】 ①宇宙エレベーターの原理を理解する②宇宙エレベーターを実現するための課題を理解する③宇宙エレベーターが従来の打ち上げ式ロケットに優る点を理解する	●	●	●	
			【知識・理解】 ①関係副詞 where の継続用法, 未来進行形, 仮定法過去の用法を理解する②宇宙開発の歴史を理解する③宇宙開発の問題点を理解する				
	8	Lesson 5 Ueno Takahiro: The Dancer in Me (8時間)	【コミュニケーション】世界の舞台上で活躍する日本人について, 知っていることを発言しようとする 【表現】SVOC(C=過去分詞), 仮定法過去完了, 分詞構文(現在分詞, 過去分詞)を用いて, 正しい文を書く 【理解】 ①筆者が打ち立てたアポロシアターでの偉業とその経緯を理解する②筆者がダンスを通して学んだ「自分らしさを表現することの重要性」を理解する③筆者が夢を実現するまでに味わったさまざまな感情を理解する④筆者がダンスを始めるきっかけとなった出来事を理解する	●	●	●	
【知識・理解】 ①SVOC(C=過去分詞), 仮定法過去完了, 分詞構文(現在分詞, 過去分詞)の用法を理解する②多くの日本人が世界の舞台上で活躍している事実を理解する							●
2	10	Lesson 6 Speaking of Fashion (8時間)	【コミュニケーション】ファッションに関するトリビアについて, 知っていることを発言しようとする 【表現】動名詞の意味上の主語, 関係代名詞の継続用法, 完了不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いて, 正しい文を書く	●	●		

11	<p>Lesson 7 The Whimsical Robot (9時間) 道徳教育を行います</p>	<p>【理解】 ①女性のズボン着用が一般的になった経緯を理解する②男性のスカート[キルト]着用が見られるスコットランドの風習を理解する③TPOの意味を理解する④流行色はあらかじめ決められていることを理解する。また、そのメリットを理解する 【知識・理解】 動名詞の意味上の主語、関係代名詞の継続用法、完了不定詞、助動詞+have+過去分詞の用法を知る</p> <p>【コミュニケーション】 星新一氏の作品について、知っていることを発言しようとする 【表現】 仮定法 as if, 仮定法 if S' were to ~ を用いて、正しい文を書く 【理解】 ①エヌ氏がロボットを購入した目的を理解する②ロボットにより、エヌ氏の休暇がどのようにものになったかを理解する③博士が意図的に不完全なロボットを作った理由を理解する 【知識・理解】 ①仮定法 as if, 仮定法 if S' were to ~ の用法を知る②ストーリー展開を予測して読む方法を知る</p>	●
12	<p>Lesson 9 A Bridge to the Future for Orangutans (8時間) 道徳教育を行います</p>	<p>【コミュニケーション】 絶滅の危機に瀕した動物を保護する活動について、知っていることを発言しようとする 【表現】 used to, 関係副詞 when の継続用法、同格を表す of/that を用いて、正しい文を書く 【理解】 ①野生のオランウータンの生息数が近年、減少していることが理解する。また、その主な要因を理解する②多摩動物公園のシブシーがどのような特徴をもつオランウータンかを理解する③多摩動物公園でスカイウォークが建てられた目的を理解する④カリマンタン島にスカイウォークが建てられた目的を理解する 【知識・理解】 ①used to, 関係副詞 when の継続用法、同格を表す of/that の用法を知る②人間活動と自然破壊の関係について知る</p>	●
1	<p>Lesson 10 Floating Education (8時間)</p>	<p>【コミュニケーション】 環境や教育の問題について、知っていることを発言しようとする 【表現】 未来完了, SVC(C=that-節), 無生物主語を用いて、正しい文を書く 【理解】 ①バングラデシュの厳しい生活環境を理解する②教育を受ける権利の重要性を理解する③バングラデシュにおいて、船上学校が通常の学校よりも設備的に優れている事実を理解する④船上学校の登場により、バングラデシュの教育事情がどのように変化したかを理解する 【知識・理解】 ①未来完了, SVC(C=that-節), 無生物主語の用法を知る②日本や世界の教育事情について知る</p>	●